

ミニ穴窯の開発支援

【相手先企業】

有限会社 大築窯炉工業

【目的】

現在本格的な穴窯は設備投資の負担が大きい上、焼成に最低3日間以上の日数と労力、それに薪を主とした大量の燃料が必要となります。

このためもっと手軽に穴窯を導入でき、短時間での焼成、及び労力と焼成コストの軽減を計ることを目的としています。

【内容】

通常の穴窯をスケールダウンしたミニサイズの窯を開発すると共に、小さくても短時間で十分な焼成効果が得られるような形状、材質、燃料について支援を行いました。

また製品化への必要な補助金制度の紹介や、製品完成後のデザイン支援についても検討を行いました。

【成果】

「灰テク穴窯 ^{ひえん} 緋炎」という名称で陶芸雑誌への広告活動を行い、平成18年6月より販売を開始する予定です。自社ホームページにも掲載しています。

(<http://www.daichiku.jp/>)



ミニ窯試作機



焼成作品

基礎となった事業：試験研究指導費（平成17年度）

担当部署：窯業指導所 工芸技術部門